

小学校【5年生】 各教科等の年間学習計画と評価の観点および評価規準について

5年【国語】

学習内容		
1 学期	教えて、あなたのこと かんがえるのっておもしろい 続けてみよう なまえつけてよ 図書館を使いこなそう 漢字の成り立ち 春の空 きいて、きいて、きいてみよう インタビューをするとき 漢字の広場 1 見立てる	言葉の意味が分かること 原因と結果 和語・漢語・外来語 日常を十七音で 古典の世界 目的に応じて引用するとき みんなが過ごしやすい町へ 同じ読み方の漢字 夏の夜 作家で広げるわたしたちの読書 カレーライス
2 学期	からたちの花 どちらを選びますか 新聞を読もう 敬語 たずねびと 漢字の広場 2 漢字の読み方と使い方 秋の夕暮れ よりよい学校生活のために 意見が対立したときには 漢字の広場 3	固有種が教えてくれること 統計資料の読み方 グラフや表を用いて書こう 古典芸能の世界ー語りで伝える カンジー博士の暗号読解 古典の世界(二) 漢字の広場 4 やなせたかしーアンパンマンの勇気 あなたは、どう考える 冬の朝
3 学期	生活の中で詩を楽しもう 方言の共通語 漢字の広場 5 想像力のスイッチを入れよう 複合語 伝わる表現を選ぼう	この本、おすすめします 提案しよう、言葉とわたしたち 日本語の表記 漢字の広場 6 大造じいさんとガン
評価の観点		評価規準
知識・技能		・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
思考・判断・表現		・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を身に付けているとともに、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。
主体的に学習に取り組む態度		・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとするとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。
(評価について) ◎言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか評価する。 ○日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか評価する。 ○言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか評価する。 ○以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや、作品、作文、発表、少人数の話し合い活動の様子などを基に評価する。		

5年【社会】

学習内容		
1 学期	1. 日本の国土と人々の暮らし (1) 世界から見た日本 (2) 日本の地形や気候 (3) さまざまな土地の暮らし ・あたたかい沖縄県に住む人々の暮らし ・低地に住む岐阜県海津市の人々	2. わたしたちの食生活と食料生産 (1) 食生活を支える食料の産地 (2) 米作りのさかんな地域 (3) 水産業のさかんな地域
2 学期	(4) これからの食料生産 3. 工業生産とわたしたちの暮らし (1) 暮らしや産業を支える工業生産 (2) 自動車工業のさかんな地域 (3) 日本の貿易とこれからの工業生産	4. 情報社会に生きるわたしたち (1) 情報をつくり、伝える
3 学期	(2) 情報を生かして発展する産業 5. 国土の環境を守る (1) 環境とわたしたちの暮らし⑥ (2) 森林とわたしたちの暮らし⑥ (3) 自然災害から人々を守る⑥	
評価の観点		評価規準
知識・技能		・我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現		・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		・社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとするとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚をもとうとしている。
〈評価について〉 ○单元ごとのテストやワークシート、ノート、発表などをもとに、社会的事象に関する知識や技能、思考力、表現力が身に付いているかを評価する。 ○社会的事象に関心をもち、地図帳や地球儀、統計などの基礎的資料を通して調べ、まとめようとする意欲を評価する。 ○社会的事情について自分なりの考えを説明したり、話し合ったりする態度を評価する。		

5年【算数】

学習内容		
1学期	整数と小数しくみをまとめよう 直方体や立方体のかさの表し方を考えよう 変わり方を調べよう(1) かけ算の世界を広げよう	わり算の世界を広げよう ※小数の倍 ※どんな計算になるのかな 形も大きさも同じ図形を調べよう
2学期	図形の角を調べよう 整数の性質を調べよう 分数と小数、整数の関係を調べよう ※考える力をのばそう ※算数で読みとこう	分数のたし算、ひき算を広げよう ならした大きさを考えよう 比べ方を考えよう(1) 面積の求め方を考えよう
3学期	比べ方を考えよう(2) 割合をグラフに表して調べよう 変わり方を調べよう(2) 多角形と円をくわしく調べよう	立体をくわしく調べよう ※考える力をのばそう ※算数で読みとこう ※5年のふくしゅう
評価の観点		評価規準
知識・技能		・整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解するとともに、小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
思考・判断・表現		・数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを見に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとするとともに、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
〈評価について〉 ○基本的な数量や図形の概念及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解しているか、適切に数理的な処理や表現ができる技能を確実に習得しているか。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で身に付ける力を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりしているか。 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えているか、学習したことを生活や学習に活用しているか。 ○以上のことを単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとおり方やコンパス、定規の使い方などを基に評価する		

5年【理科】

学習内容		
1 学期	ふりこの運動 種子の発芽と成長	魚のたんじょう 台風の接近
2 学期	実や種のでき方 雲と天気の変化 流れる水のはたらき	川と災害 電流のはたらき
3 学期	冬から春へ もののとけ方 科学者の伝記を読もう	人のたんじょう 5年生で学んだこと
評価の観点		評価規準
知識・技能		〔物質・エネルギー〕 - 物の溶け方，振り子の運動，電流がつくる磁力について理解するとともに，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 〔生命・地球〕 - 生命の連続性，流れる水の働き，気象現象の規則性について理解するとともに，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現		〔物質・エネルギー〕 - 物の溶け方，振り子の運動，電流がつくる磁力について追究する中で，主に予想や仮説を基に，解決の方法を発想する力を身に付けている。 〔生命・地球〕 - 生命の連続性，流れる水の働き，気象現象の規則性について追究する中で，主に予想や仮説を基に，解決の方法を発想する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		〔物質・エネルギー〕 - 物の溶け方，振り子の運動，電流がつくる磁力について追究する中で，主体的に問題解決しようとしている。 〔生命・地球〕 - 生命の連続性，流れる水の働き，気象現象の規則性について追究する中で，生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとしている。
〈評価について〉 ○单元ごとの評価テストと合わせて、ノート記述や観察シート、実験レポート、実験計画書などをもとに評価している。 ○条件を制御しながら調べる活動を通して、予想や仮説を基に、解決方法を発想し、表現したことを評価する。 ○観察や実験に対する態度や発言などから主体的に問題解決しようとする態度、生命を愛護する態度を評価する。また、安全面に配慮して取り組んでいるかも評価の要素とする。		

5年【音楽】

学習内容		
1 学期	○歌声をひびかせて心をつなげよう 「ビリーブ」「すてきな一歩」 ○オーケストラの響きを感じ取ろう 「音楽鑑賞教室」「オーケストラのひみつDVD」 ○音の重なりを感じ取ろう 「小さな約束」「いつでもあの海は」	・学年の始めに友達と声を合わせて歌う活動を通し協働して音楽の学習に臨む雰囲気をつくる。部分二部合唱の経験を積む。 ・区の音楽鑑賞教室に向けて、オーケストラの構成や様々な楽器について学ぶ。 ・歌声やリコーダーの音が重なり合う響きを感じ取り、重なり方の特徴を捉えながら表現を工夫する。
2 学期	○日本の音楽でつながろう 「日本の音階で旋律づくり」「こと独奏による主題6つの変奏『さくら』より」 ○いろいろな音色を感じ取ろう 「リボンのおどり」「祝典序曲」「打楽器でリズムアンサンブル」 ○和音の移り変わりをを感じ取ろう 「静かにねむれ」「威風堂々」「威風堂々第一番」	・五音音階について理解し、箏のよさを感じ取りながら「さくらさくら」をアレンジした旋律づくりをする。 ・いろいろな音のひびきやそれらが組み合わさったことによる音楽のよさや面白さを感じ取り、音楽を聴いたり、表現を工夫したりする。 ・I IV V V 7の和音を中心に和音について理解しながら、和音の響きによる音楽のよさや面白さを感じ取り、聴いたり演奏を工夫したりする。
3 学期	○詩と音楽の関わりを味わおう 「待ちぼうけ」「赤とんぼ」「この道」「冬げしき」「スキーの歌」 ○日本の音楽に親しもう 「春の海」「子もり歌」「日本の民謡」 ○思いを表現に生かそう 「卒業式の音楽」	・日本語の美しい歌詞やことばのもつ語感を感じ取りながら、歌詞と旋律との関わりについて考え聞いたり歌ったりする。 ・2学期の箏の学習を踏まえ、箏と尺八の日本の楽器の音楽や、郷土に伝わる民謡などを鑑賞する。 ・卒業式に向けての在校生として表現できる楽曲に取り組む。
評価の観点		評価規準
知識・技能		・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。
思考・判断・表現		・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。
主体的に学習に取り組む態度		・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。
〈評価について〉 ○題材の表現や技能だけでなく、知識の積み重ねを、楽譜や学習カードへの書き込みや発言、活動の様子、反応等でも評価する。 ○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を表現の様子、グループ活動や学習カードなどを通して評価する。 ○友達と音楽活動を楽しみながら進んで取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方があることを認めたりする様子を評価する。		

5 年【図画工作】

学習内容		
1 学期	○絵の具スケッチ ○マイタウン ○色コレクション ○ぼうけん島	・平面作品 ・平面作品 ・造形遊び ・立体作品
2 学期	○糸のコススイイ ○想像のたね ○焼き物に挑戦	・立体作品 ・平面作品 ・立体作品
3 学期	○音のする絵 ○作品いれづくり	・平面作品 ・1年間のまとめ
評価の観点		評価規準
知識・技能		・対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。
思考・判断・表現		・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度		・つくりだす喜びを味わい主体的に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
〈評価について〉 ○一人一人の活動の様子や作品の制作過程から、本人の思いや創意工夫を評価する。 ○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、鑑賞の時間を設定し、記述内容を評価する。		

5年【家庭】

学習内容		
1 学期	これまでの学習を家庭科につなげよう 1. 家族の生活再発見 (1) 家族の生活を見つめよう (2) 生活を支える家庭の仕事 2. クッキング はじめの一步 (1) なぜ調理をするのだろうか (2) ゆでて食べよう (3) 工夫しておいしい料理にしよう 3. ソーイング はじめの一步 (1) なぜぬうのだろうか (2) どのような用具や方法でぬうのだろうか (3) 手ぬいを生活に生かそう	4. 整理・整とんで快適に (1) なぜ整理・整とんをするのだろうか (2) どのような整理・整とんができるだろうか (3) 物の使い方を工夫しよう 5. できるよ、家庭の仕事 (1) 自分にできる仕事を見つけよう (2) 工夫して仕事をしよう (3) 実行し、続けよう チャレンジコーナー
2 学期	6. ミシンでソーイング (1) なぜミシンでぬうのだろうか (2) ミシンの使い方を知ろう (3) ミシンを使って作ってみよう	7. 食べて元気に (1) なぜ毎日食事をするのだろうか (2) ご飯とみそしるは食事の基本 (3) 日常の食事に生かそう チャレンジコーナー
3 学期	8. 生活を支えるお金と物 (1) 何にお金を使っているのだろうか (2) 何を大切にしてお金を払えばよいだろうか (3) 買い物の仕方を工夫しよう 9. 暖かく快適に過ごす着方 (1) どのような着方が暖かいだろうか (2) 衣服の働きを知ろう (3) 衣服の着方を工夫しよう	10. 暖かく快適に過ごす住まい方 (1) 寒い日はどのように過ごしているだろうか (2) 暖かく快適な住まい方 (3) 快適さアップを工夫しよう 11. いっしょにほっとタイム (1) ほっとするのはどのようなときだろうか (2) 周囲の人との関わりを考えよう (3) 団らんでつながりを深めよう チャレンジコーナー
評価の観点		評価規準
知識・技能		○家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解をしているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現		○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		○家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫し、実践しようとしている。
〈評価について〉 ○家族や家庭、衣食住、消費や環境など日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能については、単元ごとのワークシートやテスト、実習や作品で評価する。 ○日常生活の中から課題や解決方法を考え、実践し、生活をよりよくしていこうとする思考・判断力・表現力等は、授業中の発言内容やワークシート、テストで評価する。 ○家庭生活などの大切さに気付き、家族や地域の一員として生活をよりよくしようとする学びに向かう力は、授業中の発言内容や制作、実習時の態度、普段の学習の様子で評価する。		

5年【体育】

学習内容		
1学期	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動（柔軟・巧み） 体力テスト ネット型ゲーム（ソフトバレー等）	表現運動 水泳の安全について・水泳運動 短距離走・リレー
2学期	保健 心の健康（5年） ハードル走 走り幅跳び・投の運動（5年） ゴール型（バスケットボール等）	鉄棒運動 ベースボール型 （ソフトボール、ティールボール等） マット運動
3学期	跳び箱運動 保健けがの防止 体力を高める運動 体の動きを高める運動 （柔軟・巧み・力強さ・持続）	持久走 ゴール型（フラッグフットボール） ゴール型（サッカー等）
評価の観点		評価規準
知識・技能		・各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けている。
思考・判断・表現		・自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		・各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をしようとしている。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組んでいる。
〈評価について〉 ○運動技能や知識についての評価のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力を評価する。 ○学習カードやICT機器を用いて、自分の学習を振り返ったり、課題を見付けたりするような自己評価、友達同士の相互評価を評価の要素とする。 ○約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりする様子を観察して評価する。		

5年【外国語】

学習内容		
1 学期	Unit1 Hello, friends. 名前や好きなもの・ことを伝え合う。 Unit2 When is your birthday? 誕生日やほしいものを伝え合う。	Unit3 What do you want to study? 学びたい教科やなりたい職業を伝え合う。 Check Your Steps 1 外国の人に自己紹介をする。
2 学期	Unit4 He can bake bread well. 地域の身近な人を紹介する。 Unit5 Where is the post office? 場所をたずねたり、答えたりする。	Unit6 What would you like? ていねいに注文をしたり、値段をたずねたりする。 Check Your Steps 2 地域のおすすめを外国の人に紹介する。
3 学期	Unit7 Welcome to Japan. 日本の四季や文化について紹介する。 Unit8 Who is your hero? あこがれの人について発表をする。	Check Your Steps 3 「日本のすてき」を英語の先生に紹介する。
評価の観点		評価規準
知識・技能		外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を見に付けている。
主体的に学習に取り組む態度		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
〈評価について〉 ・活動の様子や振り返りカードから、聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使用して話そうとしているか、またコミュニケーションを通して自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができているか、正しいアルファベットを使って書くことができているかなどを評価する。		

5年【道徳】

学習内容		
1学期	希望と勇気、努力と強い意志 節度、節制 礼儀 友情、信頼 よりよい学校生活、集団生活 規則の尊重	相互理解、寛容 正直、誠実 親切、思いやり 生命の尊さ 自然愛護 感動、畏敬の念
2学期	節度、節制 よりよい学校生活、集団生活 友情、信頼 生命の尊さ 公正公平、社会主義 相互理解、寛容 善悪の判断、自律、自由と責任 伝統や文化の尊重、国や国土を愛する態度	真理の探究 個性の伸長 感謝 勤労、公共の精神 伝統や文化の尊重、国や国土を愛する態度 国際理解、国際親善 家族愛、家族生活の充実
3学期	規則の尊重 善悪の判断、自律、自由と責任 親切、思いやり 正直、誠実	生命の尊さ 感謝 希望と勇気、努力と強い意志 よりよく生きる喜び
評価の視点		評価規準
年間を通した大きくくりなまとまりをふまえた評価		・道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」を実現している。
特に顕著と認められた内容項目の評価		・「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度」の観点で大きな成長を個人内評価として認めることができる。
〈評価について〉 ○児童が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を適切に設定しつつ、学習活動全体を通して見取り、記述により評価する。 ○授業中の発言や話し合いの様子、ノートやワークシート、コミュニケーションツールへの記述などをもとに肯定的な評価をする。 ○学校での日常的な生活や学習に道徳の授業で学んだ成果が認められる場合は、積極的に評価へ取り入れる。		

5年【総合的な学習の時間】

学習内容	
1 学期	「電力ダイエツト作戦」 【環境・文化】 日本の電気使用量、発電方法などの資料を通して問題意識をもつ。現代のエネルギーをめぐる問題について図書資料やインターネットで調べ、環境、問題を身近なごとと考える。石油や天然ガスの採取年数や新エネルギーの可能性を知ること、自分にできる節電方法を実践したり、他学年に発信する。（社会、理科との関連、ガスの科学館授業、電気授業）
2 学期	「日本と世界の食文化」 【国際理解・文化】 - 我が国や外国の食について体験したり適切な方法で資料を収集して調べる活動を通して、自国や外国の文化のよさを理解し、それらを尊重し合い、異なる文化を持った人々と共に生きてこうとする。（食育との関連） 「共に生きる」（車椅子バス、保育園交流） 【福祉・地域】 - 保育園児との交流、障がい者スポーツをする人との交流を通して、社会には様々な立場や状況の人々が共に生きていることに気付き、みんなが共にによりよく生きるために自分たちにできることを考え、さまざまな人が安全に安心して暮らせるまちにすること全校や地域の人たちに呼びかけていく。その一環として、保育園や幼稚園等に訪問し、実践したり、パラリンピック種目（車いすバスケット）などを体験したりする。（近隣保育園・幼稚園、障害者スポーツ）
3 学期	「共に生きる」（保育園交流、外国人交流） 【福祉・地域】 保育園児との交流、外国人の方との交流などを通して、社会には様々な立場や状況の人々が共に生きていることに気付き、みんなが共にによりよく生きるために自分たちにできることを考え、さまざまな人が安全に安心して暮らせるまちにすること全校や地域の人たちに呼びかけていく。その一環として、保育園や幼稚園等に訪問し、実践したり外国人の方との交流したりする。（近隣保育園・幼稚園、ハートコーポレーション ALT との関わり）
評価の観点	評価規準
知識・技能	自分の生活や身近な地域にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。
思考・判断・表現	自分の生活や身近な地域の中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	自分の生活や身近な地域についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。
〈評価について〉 ○発表やプレゼンテーションなどの表現、話し合い・学習や活動の様子、ワークシート・ノート・図や絵などの制作物のまとめ方、児童の自己評価や相互評価などを評価の要素とする。 ○活動の様子や児童が努力していたところ、学習の成果などを文章で記述する。	